

自社ブランドを立ち上げ、海外への販路開拓を実現 (穂岐山刃物 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:高知県香美市土佐山田町栄町3-15
- 代表者:穂岐山 信介
- 資本金:3,500万円
- 売上高:4億2,000万円
- 従業員数:40名
- URL:<http://www.hokiyama.com/index.html>

①事業概要

<刃物製品の製造・販売>

高知県の伝統的工芸品産業である「土佐打刃物」の生産技術を活用したセラミック製ナイフ類、およびニッケルとステンレスを使用した多層構造鋼材によるダマスカス模様のキッチンナイフ等を開発。

自社ブランド「SAKON(左近)」「Artisan Classic」を立ち上げ、国内および欧州圏の高級市場に向けて販路開拓を進めている。

自社ブランド確立に向けては、社内体制や生産設備の刷新等を推し進め、社外技術の導入等に着手した。特に、ハンドル(グリップ部)開発は、高知県工業技術センターからのトヨタ自動車の「レクサス」ブランドの車両のステアリングに採用された木加工技術提供により、包丁類の木製のハンドルに樹脂を含浸させ、耐水性の向上や腐食を押さえる技術を採用した。

ブレード部は、当社の長年培った加工ノウハウ・技術を代表するハマグリ刃付け(刃の断面がハマグリ状に微妙に膨らんだ研磨方法)を活用して「切れ味」、「切れ味の持続性」を高め、国際的権威を有する英国での「CATRA CUTTING TEST to ISO 8442.5」実証テストによりセラミック包丁、金属製包丁両製品で画期的な評価を得ることができた。

これらブレード部、ハンドル部の独自性に加え、外部プロダクト・デザイナーの導入により製品フォルムを斬新なパッケージ含めて完成させ販路拡大に臨んだ。

②海外展開概要

<欧州への販路開拓>

主な販路は、国内では、百貨店・専門店・業務用・

通販市場であるが、海外販路開拓については事業化以前から貿易商社を通じて欧州全域に輸出の実績があることに加え、英、スウェーデン、イタリアなどとの直接貿易取引を行っており、現地市場情報を有しているため、良質な刃物が評価されやすい欧州を第一のターゲットとした。

刃物やナイフは、ドイツを中心にヨーロッパ・ブランドが長年に渡りマーケットの主流を占めていたが、優秀な日本製鋼材、素材を武器に、さらに砥石で研ぐという日本の文化ごと輸出する戦略で、21世紀に入ってからはトップ・クオリティーは日本製包丁という評判がプロ市場でも定着してきた。この追い風を生かし、温めてきた開発テーマ商品を技術・デザイン両面で完成させる準備を整えチャレンジした。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

平成22年1月からJETROの支援を受け、パリで開催されるインテリア用品の国際見本市「メゾン・エ・オブジェ」に3年連続出展し、1年目の出展でディストリビューター(代理店)との関係を構築し、2年目からはリテーラー(小売店)からのオファーに対しては、適切な現地ディストリビューターを紹介することによって拡販に努めている。

④今後の事業展開について

平成22年度からは、米国のレストランショーにも出展を開始し、これまで40年以上築いてきた北米プロ市場への新開発製品導入とカナダを含めた新規得意先獲得を着実に進めている。

現在、欧米を中心に海外売上高は全体の20%であるが、将来的には50%まで引き上げていく。

